

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成23年10～12月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、ジャルエクスプレス）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、エアニッポン、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- 北海道国際航空：ADO
- スカイネットアジア航空：SNA
- スターフライヤー：SFJ

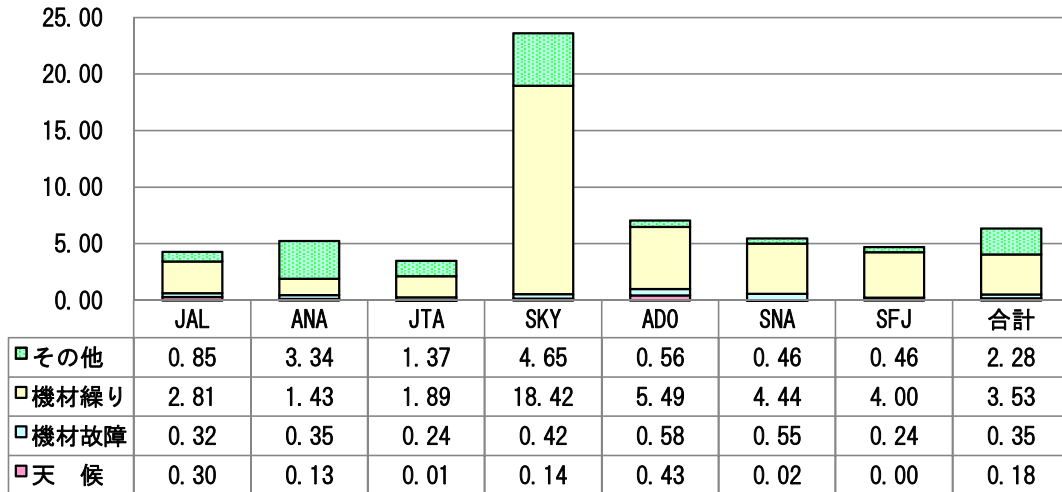
1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（平成23年10月～12月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
6.34%	6.51%	0.17ポイント減少

※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。

遅延率（平成23年10月～12月）

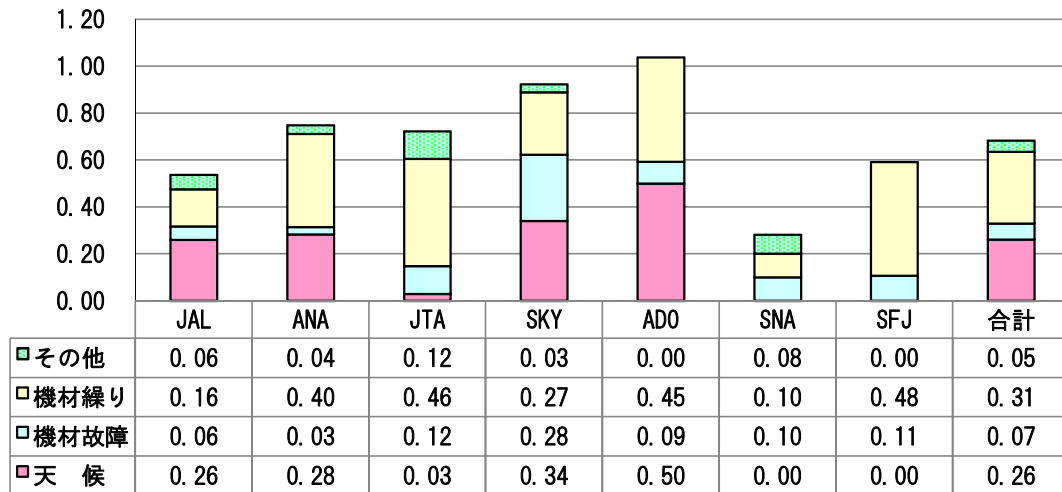


※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（2）欠航率（平成23年10月～12月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.68%	0.65%	0.03ポイント増加

欠航率（平成23年10月～12月）



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成23年10月～12月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	915km	910km	0.05%増
輸送人員	2011万5981人	1996万4798人	0.08%増
輸送人キロ	184億193万人キロ	181億6736万人キロ	0.13%増
旅客収入	3157億8百万円	3127億62百万円	0.09%増
輸送人員あたり 旅客収入	15.7千円	15.7千円	増減無し
輸送人キロあたり 旅客収入	17.2円	17.2円	増減無し

(2) 路線別データ（平成23年10月～12月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	211万3895人
2位	東京＝福岡	198万7858人
3位	東京＝大阪	132万9044人
4位	東京＝那覇	131万6132人
5位	東京＝鹿児島	55万7114人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	大阪＝青森	84.6%
2位	大阪＝花巻	81.5%
3位	東京＝神戸	79.1%
4位	福岡＝仙台	78.1%
5位	東京＝函館	76.1%
全路線		64.9%

下位5路線は次のとおり。

1位	東京＝大島	20.6%
2位	中部＝大分	22.0%
3位	札幌＝旭川	24.8%
4位	札幌＝紋別	25.6%
5位	札幌＝稚内	35.2%
全路線		64.9%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成23年10～12月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールズ（搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スカイネットアジア航空	2.90人	1.04人
②	全日本空輸	1.38人	1.32人
③	スターフライヤー	1.07人	0.70人
	全社平均	1.19人	0.88人